

NY マーケットレポート (2016 年 10 月 27 日)

NY 市場では、序盤に発表された新規失業保険申請件数や、米耐久財受注の輸送機器を除いた受注が改善したことから、FRB の年内利上げの観測が強まった。これを受けて、米長期金利が上昇となり、日米の金利差が拡大すると思惑から円を売ってドルを買う動きが優勢となった。ドルは、大半の主要通貨に対して堅調な動きとなり、特に対円では 105 円台まで上昇し、7 月 29 日以来の高値を更新する動きとなった。また、円は主要通貨に対して上値の重い動きとなり、クロス円も堅調な動きとなった。なお、米金利先物市場で織り込まれる 12 月の米利上げ確率は 74.2% (前日は 72.5%、前週末は 67.6%) に上昇している。

2016年10月27日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	104.64	104.70	104.31
EUR/JPY	114.14	114.22	113.71
GBP/JPY	127.70	128.16	127.44
AUD/JPY	79.80	80.04	79.57
EUR/USD	1.0911	1.0914	1.0892

LONDON	高値	安値
USD/JPY	104.76	104.62
EUR/JPY	114.44	114.13
GBP/JPY	128.43	127.69
AUD/JPY	79.92	79.66
EUR/USD	1.0929	1.0906

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	105.19	105.36	104.64
EUR/JPY	114.64	114.86	114.33
GBP/JPY	128.06	128.33	127.69
AUD/JPY	79.83	79.99	79.70
NZD/JPY	74.91	75.01	74.70
EUR/USD	1.0899	1.0943	1.0883
AUD/USD	0.7590	0.7628	0.7582

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18169.68	-29.65
S&P500	2133.04	-6.39
NASDAQ	5215.98	-34.29
日経225 (CME)	17450	+85
トロント総合	14833.75	+26.19
ボルサ指数	48114.67	+309.23
ボエスパ指数	64249.50	+423.82

10/28 経済指標スケジュール

08:01	【英国】10月GFK消費者信頼感
08:30	【日本】10月消費者物価指数
08:30	【日本】9月家計調査消費支出
08:30	【日本】9月失業率・9月有効求人倍率
09:00	【オーストラリア】9月HIA新築住宅販売
09:30	【オーストラリア】3Q生産者物価指数
14:30	【フランス】3Q GDP
15:00	【ノルウェー】3Q鉱工業信頼感指数
15:45	【フランス】10月消費者物価指数
15:45	【フランス】9月生産者物価指数
15:45	【フランス】9月消費者支出
16:00	【スイス】10月KOF先行指数
16:30	【スウェーデン】10月小売売上高
17:00	【ノルウェー】10月失業率
18:00	【欧州】10月サービス業信頼感
18:00	【欧州】10月鉱工業信頼感
18:00	【欧州】10月業況判断指数
18:00	【欧州】10月経済信頼感
18:00	【欧州】10月消費者信頼感
21:00	【南アフリカ】9月財政収支
21:00	【ドイツ】10月消費者物価指数
21:30	【米国】3Q GDP
21:30	【米国】3Q個人消費
21:30	【米国】3Q雇用コスト指数
23:00	【米国】10月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1269.50	+2.90
NY 原油	49.72	+0.54
CME コーン	357.50	+3.50
CBOT 大豆	1025.00	+4.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.880%	0.870%
3年債	1.032%	1.013%
5年債	1.338%	1.301%
7年債	1.636%	1.581%
10年債	1.845%	1.790%
30年債	2.605%	2.539%

ドイツ10年債	0.170%	0.085%
英国10年債	1.253%	1.152%

10/28 主要会議・講演・その他予定

・欧州市場夏時間終了 (30日)

NY 市場レポート

《企業決算》

米ブラックストーン

第3四半期の1株利益は0.57ドル（予想0.47ドル）

米フォード

第3四半期の調整後1株利益は0.26ドル（予想0.20ドル）

21:30

《経済指標の結果》

新規失業保険申請件数 25.8万件（予想 25.6万件・前回 26.1万件）

前回発表の26.0万件から26.1万件に修正

失業保険継続受給者数 203.9万人（予想 205.2万人・前回 205.4万人）

前回発表の205.7万人から205.4万人に修正



出所: Bloomberg



出所: Bloomberg

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
16/10/22	258,000	・	-3,000	・	253,000	・	*****	・	*****
16/10/15	261,000	・	+14,000	・	252,000	・	2,039,000	・	1.5%
16/10/08	247,000	・	+1,000	・	249,500	・	2,054,000	・	1.5%
16/10/01	246,000	・	-8,000	・	252,750	・	2,050,000	・	1.5%
16/09/24	254,000	・	+3,000	・	256,000	・	2,062,000	・	1.5%
16/09/17	251,000	・	-9,000	・	258,250	・	2,064,000	・	1.5%
16/09/10	260,000	・	+1,000	・	260,750	・	2,108,000	・	1.5%
16/09/03	259,000	・	-4,000	・	261,250	・	2,149,000	・	1.6%
16/08/27	263,000	・	+2,000	・	263,000	・	2,142,000	・	1.6%
16/08/20	261,000	・	-1,000	・	264,000	・	2,157,000	・	1.6%
16/08/13	262,000	・	-4,000	・	265,250	・	2,145,000	・	1.6%
16/08/06	266,000	・	-1,000	・	262,750	・	2,175,000	・	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-0.3万件的25.8万件となり、3週間ぶりに減少した。申請件数の4週移動平均は、前週比+0.1万件的25.3万件となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-1.5万人の203.9万人となり、2週間ぶりに減少し、2000年6月24日までの週以来の低水準となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比-6250人の205万1250人。受給者比率は、前週比横ばいの1.5%だった。

21:30

《経済指標の結果》

9月米耐久財受注(前月比) -0.1% (予想 0.0%・前回 0.3%)

前回発表の0.1%から0.3%に修正

9月米耐久財受注[除輸送用機器] 0.2% (予想 0.2%・前回 0.1%)

前回発表の-0.2%から0.1%に修正



出所: Bloomberg

《米耐久財受注》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
耐久財新規受注	-0.1	0.3	3.6	-4.3	-2.9	3.2
輸送機器除く	0.2	0.1	1.1	-0.3	-0.5	0.3
国防関連除く	0.7	-0.7	2.9	-4.0	-1.6	3.6
資本財	0.1	-0.2	10.7	-12.4	-6.0	7.5
輸送機器	-0.8	0.6	8.9	-11.5	-7.1	8.5
総受注残	-0.4	-0.1	-0.2	-0.9	0.0	0.6
総在庫	0.1	0.1	0.4	-0.1	-0.4	-0.4
総出荷	0.8	0.0	0.0	0.4	-0.3	0.4

9月の米耐久財受注は、前月比-0.1%の2272億7800万ドルとなり、3ヵ月ぶりのマイナスとなった。国防関連の輸送機器が大幅マイナスとなったことが影響し、一般機械、電子機器などのプラスを打ち消した。尚、輸送機器を除いた受注は+0.2%と3ヵ月連続のプラスとなった。

①輸送機器が-0.8%となり、自動車・同部品は+1.2%、民間航空機が+12.5%となったが、国防関連の航空機が-44.8%の大きなマイナスとなった。

②輸送機器以外では、一般機械が+1.2%、電機・家電が+1.5%、一次金属は-0.3%、金属製品は-0.4%、電算機・電子製品は-1.0%となった。

③資本財は+0.1%となり、資本財から国防関連を除いた受注は+1.5%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は-1.2%とマイナスに転じた。国防関連は-7.7%。

23:00

《 経済指標の結果 》

9月米中古住宅販売仮契約(前月比) 1.5% (予想 1.0%・前回 -2.5%)
前回発表の-2.4%から-2.5に修正

9月米中古住宅販売仮契約(前年比) 2.0% (予想 4.0%・前回 3.9%)
前回発表の4.0%から3.9に修正



出所: Bloomberg

《中古住宅販売仮契約》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
全米	1.5	-2.5	1.2	-0.8	-3.7	3.9
北東部	-1.6	1.3	0.8	3.2	-5.3	1.2
中西部	-0.2	-0.8	-3.1	0.9	-4.2	-0.8
南部	1.9	-3.2	0.7	-2.9	-3.1	4.1
西部	4.7	-5.5	7.1	-1.3	-3.4	11.4

(前月比%)

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
全米	2.0	3.9	-2.4	-0.7	2.4	1.8
北東部	7.5	11.6	-2.2	-1.0	2.7	10.3
中西部	-0.9	3.3	-4.8	-0.6	1.8	0.7
南部	0.8	1.3	-2.5	-0.8	2.7	0.6
西部	4.1	4.0	0.3	-0.1	2.1	-1.0

(前年比%)

9月の米中古住宅販売仮契約指数は、前月比+1.5%の110.0(2001年=100)と2ヵ月ぶりのプラスとなった。

①地域別では、北東部が-1.6%、中西部が-0.2%、南部は+1.9%、西部は+4.7%となった。

②NARのチーフエコノミストは、西部と南部での上昇が見られ、1年前と比べ住宅需要が増大しているという印象が強い。住宅在庫が逼迫しており、全土的に価格の上昇が続いているが、就業者数が増え、賃金も上昇傾向にあるので、需要は今後も増えると分析した。

0:00

《 経済指標の結果 》

10月カンザスシティ連銀製造業活動指数 6(予想 3・前回 6)



出所: Bloomberg

《欧州のポイント》

- ① ノルウェー中銀は、市場の予想通り政策金利を 0.50% に据え置いた。2 年にわたり低迷していた景気に、回復の兆しが引き続き見えていることが背景。オルセン中銀総裁は、9 月の前回会合で、政策金利は今後数年にわたって 0.50% に据え置かれる可能性があるとの見方を示していた。きょうの会見では、「9 月以降の情勢は、9 月会合で示した想定から大きくは変わっていないため、据え置きを決めた」と説明した。
- ② スウェーデン中銀は、政策金利を -0.50% に据え置き、債券買い入れプログラムの規模も維持すると発表した。一方、最近のインフレ鈍化に伴い、将来の利下げの可能性が高まったとしたほか、12 月の次回会合で量的緩和を拡大する用意があると表明した。中銀の声明では「われわれが 9 月に予想していたよりも 6 カ月長く、政策金利を -0.50% に据え置く必要があると判断している」とし「利下げの可能性が高まった」との認識を示した。

2:00

《米財務省 7 年債入札》

最高落札利回り・・・1.653%（前回 1.389%）
 最低落札利回り・・・1.535%（前回 1.250%）
 最高利回り落札比率・・・23.26%（前回 96.45%）
 応札倍率・・・2.49 倍（前回 2.47 倍）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、原油価格の上昇を受けて、主要株価は堅調な動きとなった。英 FT100 指数は、EU 離脱決定後の英国 GDP が底堅い結果となったことから、英国の利下げ観測が後退して下落する場面もあった。



出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 2.90 ドル高の 1 オンス＝1269.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、9 月の米耐久財受注や週間失業保険申請件数が市場予想より悪い内容だったことから、年内の米追加利上げへの警戒感がやや後退し、買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.54 ドル高の 1 バレル=49.72 ドルで取引を終了した。

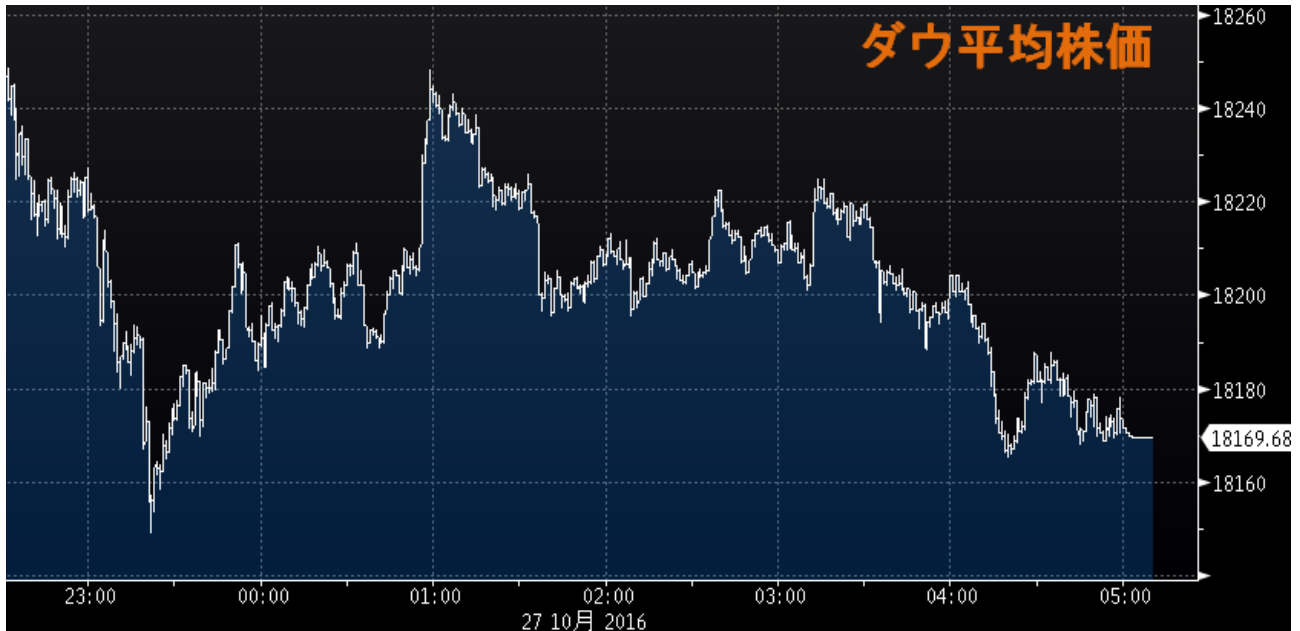
NY 原油は、産油国が減産合意するとの期待感を背景に、堅調な動きとなった。しかし、減産実現に懐疑的な見方も広がっており、上値は限定的となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

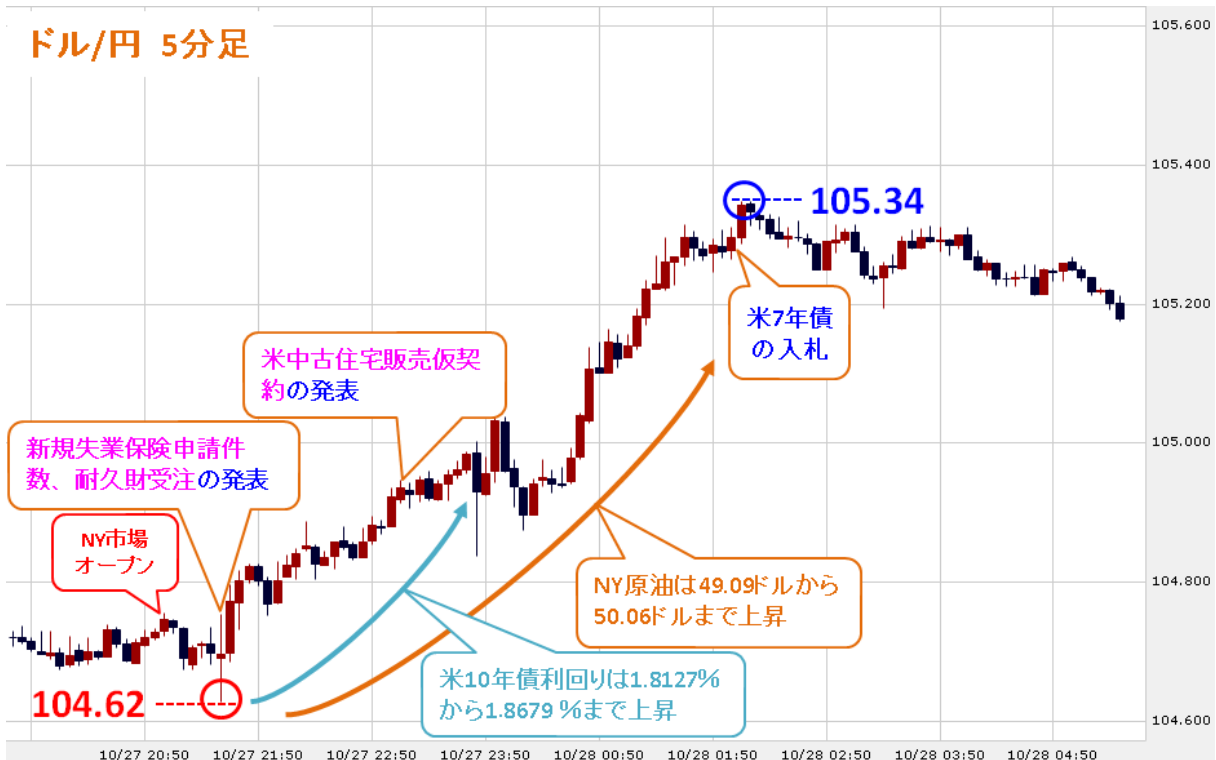
米株式市場は、米企業の 7-9 月期決算の内容を好感した買いが入る一方、米長期金利の上昇で企業の資金調達コストが増えることを懸念した売りも出ており、序盤から売り買い交錯するもみ合いの動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤に一時前日比で 53 ドル高まで上昇したものの、その後下落に転じ 50 ドル安まで下落する動きとなった。ただ、終盤までは狭いレンジ内の展開が続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の年内利上げ観測を背景に、米長期金利が上昇し、日米の金利差が拡大するとの思惑から円を売ってドルを買う動きが優勢となった。円は、主要通貨に対して軟調な動きとなり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。特に、ドル/円は 7 月下旬以来、約 3 ヶ月ぶりの高値を付ける動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。